

# 令和5（2023）年度 生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅰ 実施報告④

実施日：令和5年7月26日（水）

本研修は、新たに生涯学習・社会教育関係職員として配属された方々が、業務を遂行する上で必要となる社会教育行政に関する基礎知識や学習プログラムの企画・立案の技術等を学びます。

第4回は総合教育センターに集合し、26名の方が受講されました。

## ○ 演習「魅力的な学習プログラムの企画・立案」

## 総合教育センター職員

学習プログラムの目的と意義を確認した後、「ストーリー性をもたせる」、「多様な学習方法から選択する」、「地域の教育資源を活用する」、「地域課題を取り上げる」などのプログラム設計の留意点について説明を受けました。

つぎに、例示された連続講座の学習プログラムをブラッシュアップする個人活動を行いました。受講者はその講座全体の起承転結を意識した流れを考えたり、参加者の学習効果を高めるためにどのような学習方法を選択すると良いかを考えたりと、説明から得た学びを生かしてブラッシュアップを行うことができました。

そして、個人でブラッシュアップした連続講座の学習プログラムについてグループ内で発表し合い、さらにグループとしてブラッシュアップを図りました。その後、連続講座の中から1回分のプログラムを選択し、詳細な計画を立てました。

最後に、ブラッシュアップした学習プログラムを、他のグループに回して見てもらう「プログラムの旅」を行いました。回ってきた学習プログラムを見て、良いと感じたことや気になったところについて付箋紙に記入し相手に戻すことで、学びの分かち合いを行いました。

4回の研修を経て、生涯学習・社会教育行政の基礎知識を学び、県内の仲間をつくった受講生は業務に対する自信を深め、「事業の企画・立案するときには前例ばかり見るのではなく、目的に基づいて進めていきたい」など業務に取り組む意識も高めることができました。



### ☆受講者の声（アンケートから）

- ・ 今まで参加者に楽しんでもらうことと予算を中心に企画していたが、ストーリー性を意識して内容を考えると、より学習の効果が出ると学んだ。また、地域を巻き込むことは、人と人との交流が深まり、地域社会の形成にも役立てると思うので、より一層地域ボランティアの活用を検討していきたい。
- ・ 講座の企画、立案をするにあたり、本日学んだ視点を生かしたい。また、講座の評価に関しても、次につながるようにアンケートを作成したい。今後は、社会教育は「何を学ぶか」が大切だと心掛け、楽しい講座ということだけではなく、学びを意識した講座づくりを行いたい。
- ・ 各地域の社会教育関係職員の方と交流することができ、様々な考えを聞くことができた。状況が地域によって異なるが、その中で、少しでも地域の力になろうと自分のできることを考え、行動するパワーをいただいた。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで  
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp